

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成26年9月11日(2014.9.11)

【公開番号】特開2013-37652(P2013-37652A)

【公開日】平成25年2月21日(2013.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2013-009

【出願番号】特願2011-175608(P2011-175608)

【国際特許分類】

G 0 6 F 21/62 (2013.01)

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

H 0 4 N 5/93 (2006.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 21/24 1 6 5 F

H 0 4 N 5/92 H

H 0 4 N 5/93 Z

G 1 1 B 20/10 H

【手続補正書】

【提出日】平成26年7月25日(2014.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0112

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0112】

次に、メディア（メモリカード）は、ステップS117において、先の認証処理に際してホスト（再生装置）から受領したホスト証明書（Host Cert）のタイプ情報を参照して、ホスト（再生装置）から受領したホスト証明書（Host Cert）が、ホストの要求しているタイトルキーに対応するコンテンツの種類に対応する対応コンテンツタイプ情報を記録したホスト証明書（Host Cert）であるか否かを判定する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0113

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0113】

例えば、図7に示す2つの種類のホスト証明書（Host Cert）が利用可能な構成であると仮定する。

再生予定コンテンツが通常コンテンツであり、ホストの要求するタイトルキーが通常コンテンツに対応するタイトルキーである場合は、

ホストから受信したホスト証明書が、図7に示す以下の2つの証明書、

(A) 高付加価値コンテンツと通常コンテンツの双方のコンテンツ再生に利用可能なホスト証明書（Host Cert）

(B) 通常コンテンツのみのコンテンツ再生に利用可能なホスト証明書（Host Cert）

これらの2種類のホスト証明書（Host Cert）のいずれでも、ステップS117の判定はYesとなる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0123

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0123】

すなわち、再生プログラムが、  
通常コンテンツ対応の再生プログラム、  
高付加価値コンテンツ対応の再生プログラム、  
このように、コンテンツの種類に応じた専用のプログラムとして設定され、各再生プログラムに対して利用可能なホスト証明書（Host Cert）を1つずつ割り当てた構成を前提としていた。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0125

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0125】

すなわち、再生プログラムの処理として、コンテンツ種類を判別して、判別したコンテンツ種類に応じて、

（A）高付加価値コンテンツと通常コンテンツの双方のコンテンツ再生に利用可能なホスト証明書（Host Cert）

（B）通常コンテンツのみのコンテンツ再生に利用可能なホスト証明書（Host Cert）

これらの2種類のホスト証明書（Host Cert）のいずれかを選択して利用する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0128

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0128】

なお、先の図9～図11に示すフローの処理では、起動プログラムは、コンテンツの種類（高付加価値／通常）に応じて異なっていたが、本処理例では、起動プログラムは、選択コンテンツの種類（高付加価値／通常）に応じて変更されない。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0139

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0139】

次に、メディア（メモリカード）は、ステップS217において、先の認証処理に際してホスト（再生装置）から受領したホスト証明書（Host Cert）のタイプ情報を参照して、ホスト（再生装置）から受領したホスト証明書（Host Cert）が、ホストの要求しているタイトルキーに対応するコンテンツの種類に対応する対応コンテンツタイプ情報を記録したホスト証明書（Host Cert）であるか否かを判定する。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0140

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 1 4 0 】

例えば、図 7 に示す 2 つの種類 のホスト証明書 ( H o s t C e r t ) が利用可能な構成であると仮定する。

再生予定コンテンツが通常コンテンツであり、ホストの要求するタイトルキーが通常コンテンツに対応するタイトルキーである場合は、

ホストから受信したホスト証明書が、図 7 に示す以下の 2 つの証明書、

( A ) 高付加価値コンテンツと通常コンテンツの双方のコンテンツ再生に利用可能なホスト証明書 ( H o s t C e r t )

( B ) 通常コンテンツのみのコンテンツ再生に利用可能なホスト証明書 ( H o s t C e r t )

これらの 2 種類 のホスト証明書 ( H o s t C e r t ) のいずれでも、ステップ S 2 1 7 の判定は Y e s となる。

## 【 手 続 補 正 8 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 4 2

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 1 4 2 】

ホスト ( 再生装置 ) から受領したホスト証明書 ( H o s t C e r t ) が、ホストの要求しているタイトルキーに対応するコンテンツの種類に対応する対応コンテンツタイプ情報を記録したホスト証明書 ( H o s t C e r t ) であると判定されるとステップ S 2 1 7 の判定は Y e s となり、ステップ S 2 1 8 に進む。

## 【 手 続 補 正 9 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 4 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 1 4 3 】

次に、メディア ( メモリカード ) は、ステップ S 2 1 8 において、先の認証処理に際してホスト ( 再生装置 ) から受領したホスト証明書 ( H o s t C e r t ) の保護領域アクセス権情報を参照して、ホストの要求するタイトルキーの格納領域、すなわち保護領域の区分領域が、データ読み取り許容領域として設定されているか否かを確認する。

## 【 手 続 補 正 1 0 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 7 1

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 1 7 1 】

メディア ( メモリカード ) が、ホスト ( 再生装置 ) が記録再生専用器であることを確認した場合は、図 1 7 の左側に示す、

( 1 ) ホスト = 記録再生専用器の処理が実行される。

一方、メディア ( メモリカード ) が、ホスト ( 再生装置 ) が P C または携帯端末であることを確認した場合は、図 1 7 の右側に示す、

( 2 ) ホスト = P C / 携帯端末の処理が実行される。

## 【 手 続 補 正 1 1 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 1 8 8

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 1 8 8 】

次に、ステップ S 3 5 5 において、メディア（メモリカード）3 2 0 から読み出したメディア ID - MAC 3 2 1 と、ステップ S 3 5 4 で算出した MAC 値との照合処理を実行する。

この照合処理において、メディア（メモリカード）3 2 0 から読み出したメディア ID - MAC 3 2 1 と、ステップ S 3 5 4 で算出した算出 MAC 値が一致すれば、MAC 照合成立となり、メディア（メモリカード）3 2 0 の正当性が確認されたものと判定され、ステップ S 3 5 6 のタイトルキーを適用した暗号化コンテンツの復号処理に進む。

【**手続補正 1 2**】

【**補正対象書類名**】明細書

【**補正対象項目名**】0 2 1 1

【**補正方法**】変更

【**補正の内容**】

【**0 2 1 1**】

また、メディア（メモリカード）は、ホスト証明書（Host Cert）に基づいて、ホスト（再生装置）の種類を確認可能となり、ホスト（再生装置）に応じたコンテンツの利用制御を実行することも可能となる。

例えば、特定コンテンツについては、記録再生機器でのみ利用可能とし、PC や携帯端末では利用させないといったホスト（再生装置）の種類に応じたコンテンツ利用制御を実行することなどが可能となる。

【**手続補正 1 3**】

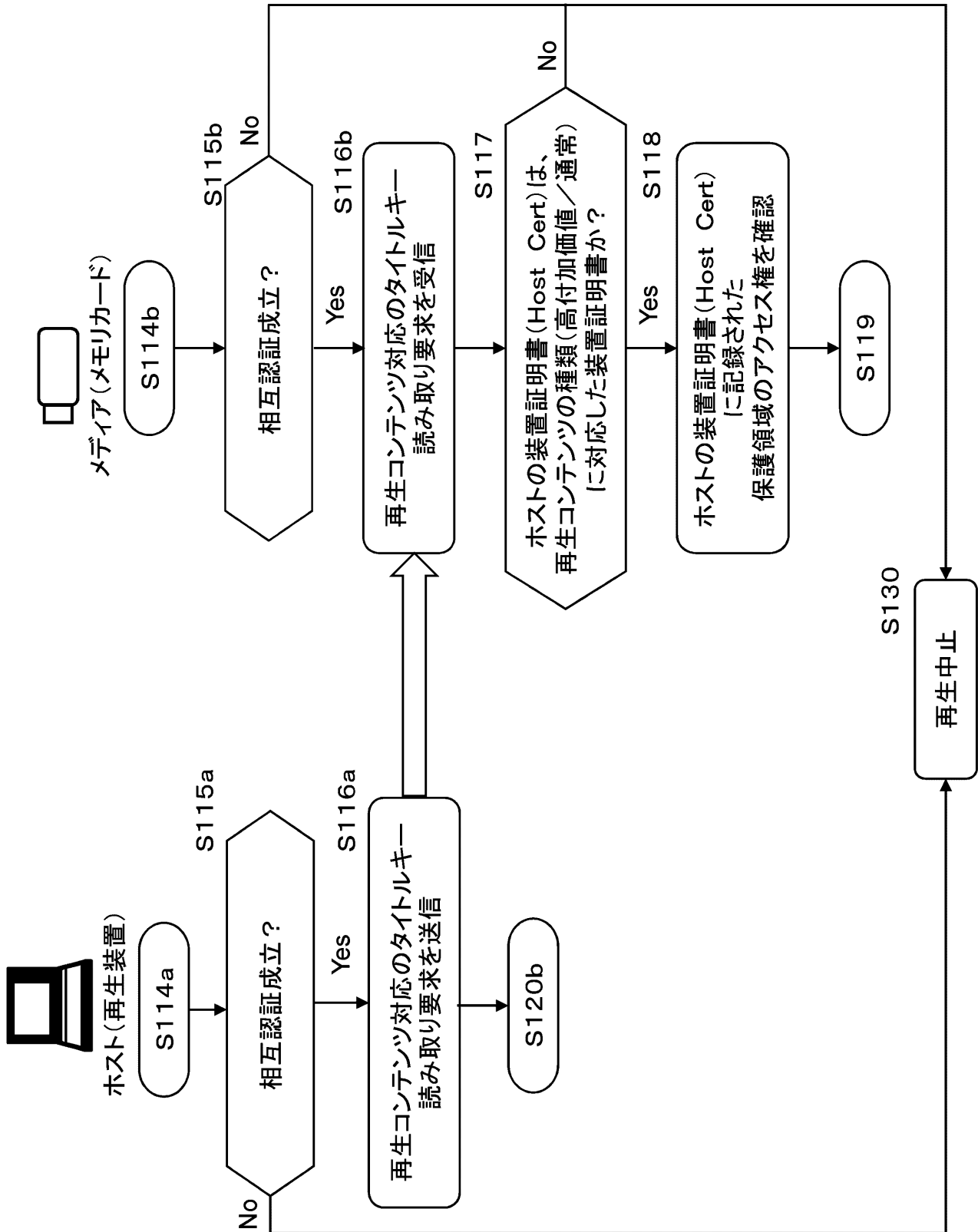
【**補正対象書類名**】図面

【**補正対象項目名**】図 1 0

【**補正方法**】変更

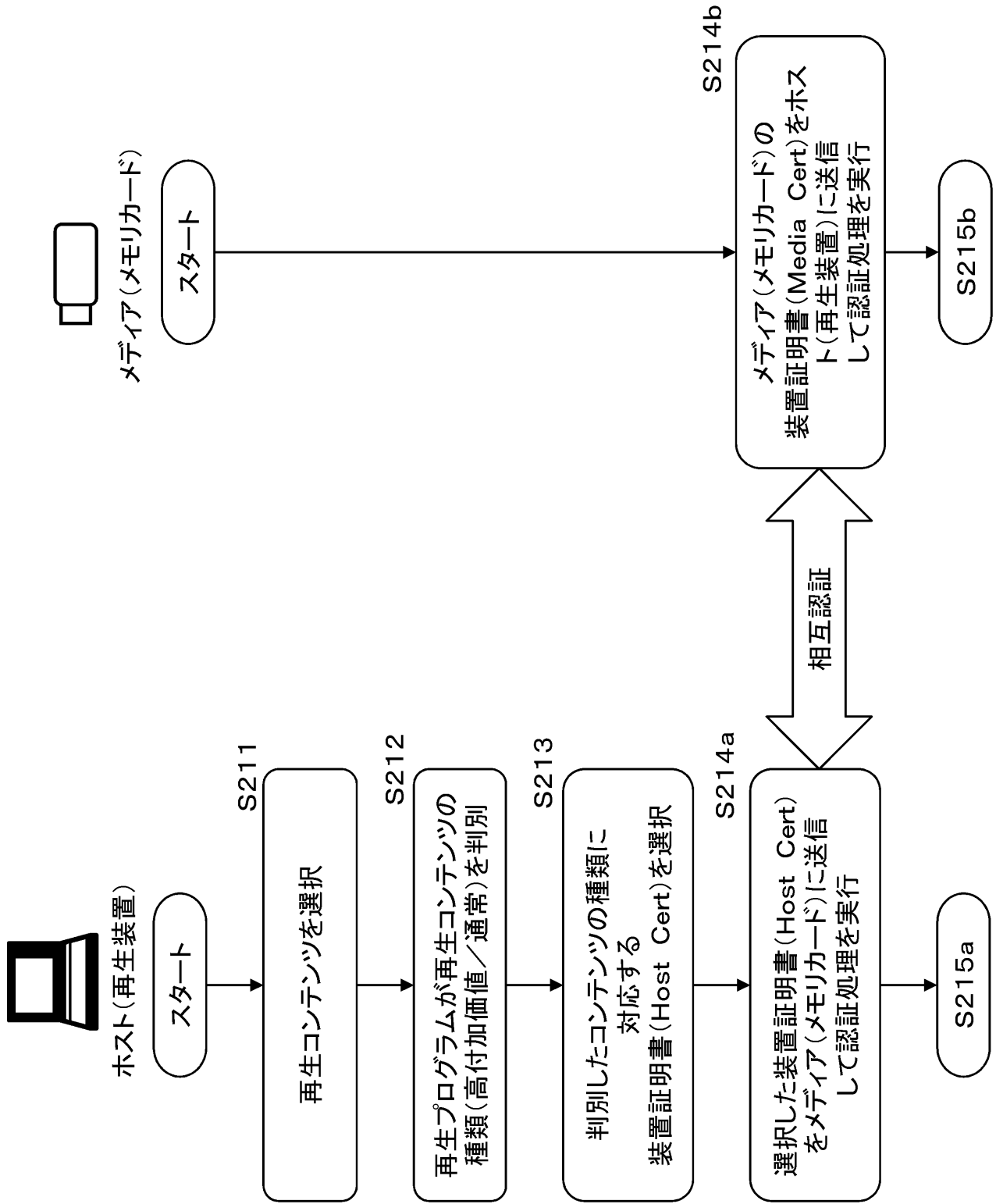
【**補正の内容**】

【 図 1 0 】



【 手続補正 1 4 】  
【 補正対象書類名 】 図面  
【 補正対象項目名 】 図 1 2  
【 補正方法 】 変更

【補正の内容】  
【図 1 2】



【手続補正 1 5】

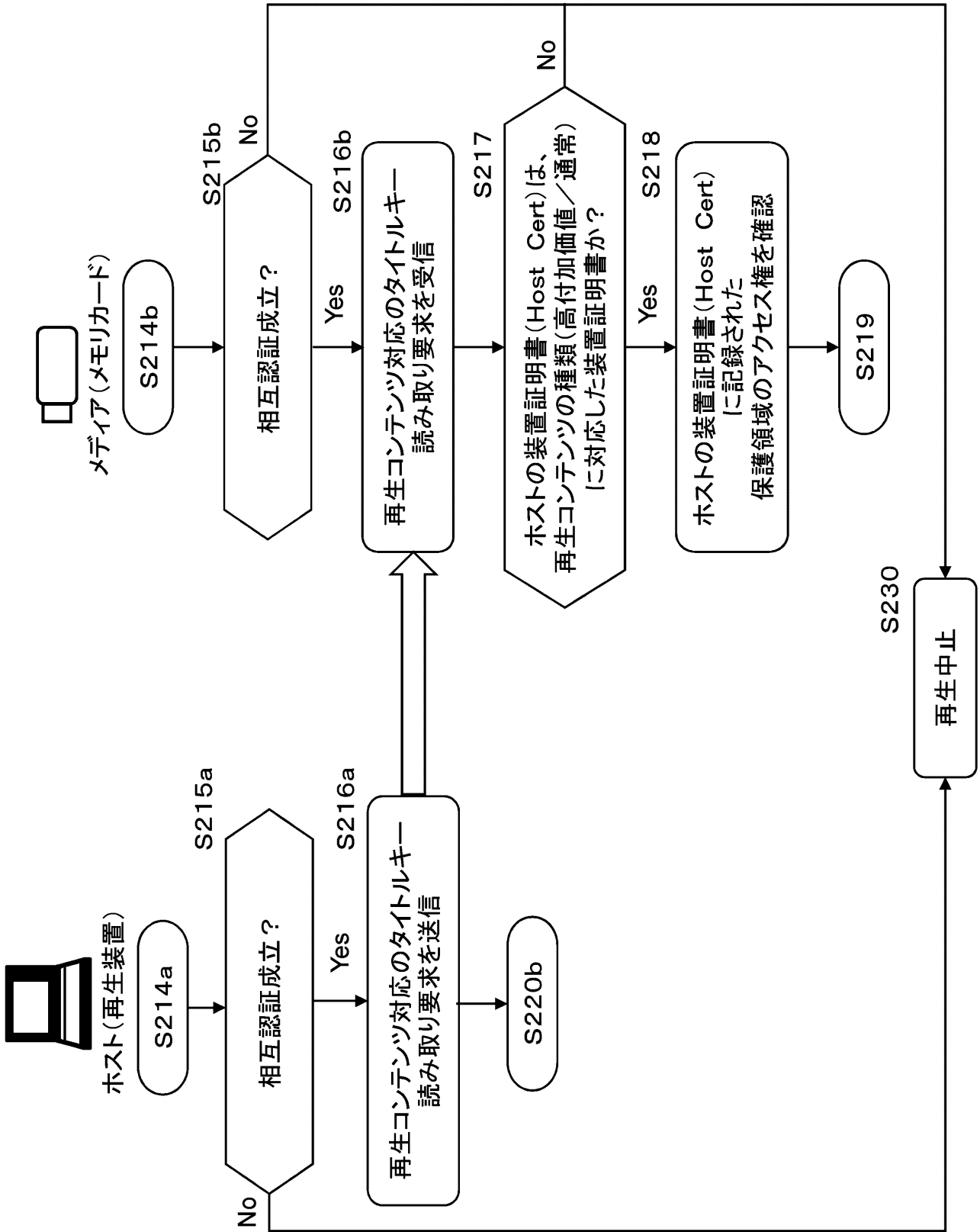
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 3 】



【 手続補正 1 6 】

【 補正対象書類名 】 図面

【 補正対象項目名 】 図 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 2 1 】

